古文単語 本文で意味を決める ①

高校／意味が2つの語を、本文の手がかりで絞る

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿

日付 ＿＿＿＿＿＿＿＿

各組（1〜4）の――線の語の意味を、見出しの横の「意味の一覧」から選び、右の「番号」欄に番号を書きなさい。
その意味に決めた手がかりを、――線の語以外の本文から、右の「手がかり」欄に書き抜きなさい（10字までを目安に）。
意味の一覧は、古文単語プリントの一覧表と同じ語義です。同じ語でも、本文によって意味が決まります。

1 いかで （副詞） 意味の一覧 ① どうして ② なんとかして

ア 世界の男、貴なるも賤しきも、「いかでこのかぐや姫を得てしがな、見てしがな。」と、音に聞きめでて惑ふ。（竹取物語）

番号 ＿＿ 手がかり ＿＿＿＿

イ 石作皇子は心のしたくみある人にて、「天竺に二つとなき鉢を、百千万里の程行きたりともいかでか取るべき。」と思ひて、……（竹取物語）

番号 ＿＿ 手がかり ＿＿＿＿

2 にほひ （名詞） 意味の一覧 ① 美しい色つや ② 香り

ア 申の時にて源氏参りたまふ。角髪結ひたまへるつらつき、顔のにほひ、さま変へたまはむこと惜しげなり。
（源氏物語・桐壺）

番号 ＿＿ 手がかり ＿＿＿＿

イ 御堂の方に法師ども参りたり。夜寒の風にさそはれくる空薫物のにほひも、身にしむ心地す。（徒然草・第四十四段）

番号 ＿＿ 手がかり ＿＿＿＿

3 あさまし （形容詞シク活用） 意味の一覧 ① 意外なことに驚く ② 情けない・見苦しい

ア ……うち伏せてしばりけり。馬は血つきて宇治大路の家に走り入りたり。あさましくて、男どもあまた走らかしたれば、
……（徒然草・第八十七段）

番号 ＿＿ 手がかり ＿＿＿＿

イ 三昧僧何某の律師とかやいふ者、ある時鏡を取りて顔をつくづくと見て、我が貌の醜くあさましき事を、余りに心憂く覚えて、鏡さへうとましき心地しければ、
……（徒然草・第百三十四段）

番号 ＿＿ 手がかり ＿＿＿＿

4 おほす （動詞・サ行下二段活用） 意味の一覧 ① おっしゃる ② お命じになる

ア 亀山殿の御池に、大井川の水をまかせられむとて、大井の土民におほせて、水車を作らせられけり。（徒然草・第五十一段）

番号 ＿＿ 手がかり ＿＿＿＿

イ 「内侍所の御鈴の音は、めでたく優なるものなり。」とぞ、徳大寺の太政大臣はおほせられける。（徒然草・第二十三段）

番号 ＿＿ 手がかり ＿＿＿＿

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「古文単語プリント」のプリント一覧がひらきます

古文単語 本文で意味を決める ②

高校／同じ単語でも本文によって意味が変わる

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿

日付 ＿＿＿＿＿＿＿＿

各組（1〜4）の――線の語の意味を、見出しの横の「意味の一覧」から選び、右の「番号」欄に番号を書きなさい。
その意味に決めた手がかりを、――線の語以外の本文から、右の「手がかり」欄に書き抜きなさい（短い語句でよい）。
同じ語でも本文によって番号が変わります。

1 あやし （形容詞シク活用） 意味の一覧 ① 不思議だ ② 身分が低い ③ みすぼらしい

ア 心にうつりゆくよしなしごとを、そこはかとなく書きつくれば、あやしうこそものぐるほしけれ。（徒然草・序段）

番号 ＿＿ 手がかり ＿＿＿＿

イ あやしの竹の編戸のうちより、いと若き男の、月影に色あひさだかならねど、つややかなる狩衣に濃き指貫、……（徒然草・第四十四段）

番号 ＿＿ 手がかり ＿＿＿＿

2 わたる （動詞ラ行四段活用） 意味の一覧 ① 移動する ② 一面に〜する ③ 〜し続ける

ア 東西は海ちかくていとおもしろし。夕霧たちわたりて、いみじうをかしければ（更級日記）

番号 ＿＿ 手がかり ＿＿＿＿

イ 因幡の国に、何の入道とかやいふものの女、かたちよしと聞きて、人あまたいひわたりけれども（徒然草・第四十段）

番号 ＿＿ 手がかり ＿＿＿＿

ウ 舟にてわたりぬれば、相模国になりぬ。（更級日記）

番号 ＿＿ 手がかり ＿＿＿＿

3 おこたる （動詞ラ行四段活用） 意味の一覧 ① 病気がよくなる ② 怠ける・油断する

ア 念仏の時、睡りにをかされて行をおこたり侍ること、いかがしてこの障りをやめ侍らむ。（徒然草・第三十九段）

番号 ＿＿ 手がかり ＿＿＿＿

イ いみじく苦しければ、天竜といふ川のつらに、仮屋つくり設けたりければ、そこにて日ごろすぐるほどにぞ、やうやうおこたる。（更級日記）

番号 ＿＿ 手がかり ＿＿＿＿

4 おどろく （動詞・カ行四段活用） 意味の一覧 ① 目を覚ます ② はっと気がつく ③ 驚く

ア わづらふ姉おどろきて、……など問へば、夢にこの猫のかたはらに来て（更級日記）

番号 ＿＿ 手がかり ＿＿＿＿

イ 暁になりやしぬらむと思ふほどに、山の方より人あまた来るおとす。おどろきて見やりたれば、鹿の縁のもとまで来てうち鳴いたる（更級日記）

番号 ＿＿ 手がかり ＿＿＿＿

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「古文単語プリント」のプリント一覧がひらきます

古文単語 本文で意味を決める ③

高校／意味が3つの語。同じ番号が重なることも

名前 _____

日付 _____

各組（1〜3）の――線の語の意味を、見出しの横の「意味の一覧」から選び、右の「番号」欄に番号を書きなさい。
その意味に決めた手がかりを、――線の語以外の本文から、右の「手がかり」欄に書き抜きなさい（10字までを目安に）。
同じ組の中で、同じ番号が2回出ることがあります。同じ組の別の本文の答えにつられず、本文ごとに決めましょう。

1 かしこし （形容詞ク活用）

意味の一覧 ① 恐れ多い ② 優れている ③ 非常に

ア ……世を貪らざらむぞいみじかるべき。昔よりかしこき人の富めるは稀なり。（徒然草・第十八段）

番号 ／ 手がかり

イ いでや、この世に生れては、願はしかるべきことこそ多かめれ。帝の御位はいともかしこし。（徒然草・第一段）

番号 ／ 手がかり

ウ 男女きらはず呼び集へて、いとかしこくあそぶ。（竹取物語）

番号 ／ 手がかり

2 しのぶ （動詞）

意味の一覧 ① 我慢する ② 人目を避ける ③ 思い慕う

ア ……夕の嵐、夜の月のみぞ、言問ふよすがなりける。思ひ出でてしのぶ人あらむほどこそあらめ。（徒然草・第三十段）

番号 ／ 手がかり

イ ある人とぶらひたまはむとて、夕月夜のおぼつかなき程に、しのびて尋ねおはしたるに、……（徒然草・第百四段）

番号 ／ 手がかり

ウ 下りて拝したてまつりたまふさまに、皆人涙落としたまふ。帝はた、ましてえしのびあへたまはず、思し紛るる折もありつる昔のこと、とりかへし悲しく思さる。（源氏物語・桐壺）

番号 ／ 手がかり

エ 皇子「いとしのびて。」とのたまはせて、人もあまた率ておはしまさず、近う仕うまつる限して出でたまひぬ。（竹取物語）

番号 ／ 手がかり

3 まどふ （動詞ハ行四段活用）

意味の一覧 ① あわてる ② 迷う ③ ひどく（〜する）

ア 晦日の夜いたう暗きに、松どもともして、夜半すぐるまで、人の門叩き走りありきて、何事にかあらむ、ことごとしくののしりて、足を空にまどふが、……（徒然草・第十九段）

番号 ／ 手がかり

イ 鼻の中ふたがりて、息も出でがたかりければ、さまざまにつくろひけれど、煩はしくなりて、目眉額なども腫れまどひて、うち覆ひければ、……（徒然草・第四十二段）

番号 ／ 手がかり

ウ 露霜にしほたれて、所さだめずまどひ歩き、親のいさめ、世のそしりをつつむに、心のいとまなく、……（徒然草・第三段）

番号 ／ 手がかり

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「古文単語プリント」のプリント一覧がひらきます

古文単語 本文で意味を決める ④

高校／意味の一覧なしで、本文から意味を書く

名前 _____

日付 _____

各本文の――線の語の意味を、右の「意味」欄に書きなさい。選ぶ一覧はなく、一覧表で覚えた語義を短く書きます。
その意味に決めた手がかりを、――線の語以外の本文から、右の「手がかり」欄に書き抜きなさい（10字までを目安に）。
同じ語でも本文によって意味が変わります。その本文での意味を、一覧表の言い方で書きます。

1 かへる年、正月の司召に、親のよろこびすべき事ありしに、かひなき翌朝、
……（更級日記）

意味 | 手がかり

2 公事どもしげく、春のいそぎにとり重ねて、催し行はるる様ぞいみじきや。
（徒然草・第十九段）

意味 | 手がかり

3 楫取答へてまをす、「ここら船に乗りてまかりありくに、まだかくわびしきめを見ず。御船海の底に入らずは神落ちかかりぬべし。
……（竹取物語）

意味 | 手がかり

4 ひとり灯火のもとに文をひろげて、見ぬ世の人を友とするこそ、こよなう慰むわざなれ。
（徒然草・第十三段）

意味 | 手がかり

5 さて仕うまつる百官の人々に、あるじいかめしう仕うまつる。（竹取物語）

意味 | 手がかり

6 「実方は御手洗に影のうつりける所と侍れば、橋本やなほ水の近ければと覚えはべる。
……（徒然草・第六十七段）

意味 | 手がかり

7 よろづのとがは、馴れたるさまに上手めき、所得たるけしきして、人をないがしろにするにあり。（徒然草・第二百三十三段）

意味 | 手がかり

8 ……月の興も覚えず屈じ臥しぬ。つとめて舟に車かき据ゑて渡して、あなたの岸に車ひき立てて、……（更級日記）

意味 | 手がかり

古文単語 本文で意味を決める ⑤

高校／1つの長い本文の中で、5つの語の意味を決める

名前 _____

日付 _____

本文の（ア）～（オ）の――線の語の意味を、下の「意味の一覧」から選び、右の「番号」欄に書きなさい。
その意味に決めた手がかりを、その語以外の本文から、右の「手がかり」欄に書き抜きなさい（10字までを目安に）。
（ア）～（オ）は本文に出てくる順で、語ごとに一覧が違います。本文を初めから終わりまで読んで決めましょう。

初めよりおしなべての上宮仕へしたまふべき際にはあらざりき。おぼえいと（ア）やむごとなく、上衆めかしけれど、わりなくまつはさせたまふあまりに、（イ）さるべき御遊びの折々、何事にもゆゑある事のふしぶしには、まづ参う上らせたまふ。ある時には大殿籠もり過ぐして、（ウ）やがてさぶらはせたまひなど、あながちに御前去らず（エ）もてなさせたまひしほどに、（オ）おのづから軽き方にも見えしを、……（源氏物語・桐壺）

ア **やむごとなし**（形容詞ク活用）
意味の一覧　① ほっておけない　② この上ない　③ 高貴だ

番号 ＿＿　手がかり ＿＿＿＿

イ **さるべき**（連語）
意味の一覧　① そうなる運命の　② 適当な　③ 立派な

番号 ＿＿　手がかり ＿＿＿＿

ウ **やがて**（副詞）
意味の一覧　① そのまま　② すぐに

番号 ＿＿　手がかり ＿＿＿＿

エ **もてなす**（動詞サ行四段活用）
意味の一覧　① 振る舞う　② 取り扱う

番号 ＿＿　手がかり ＿＿＿＿

オ **おのづから**（副詞）
意味の一覧　① ひとりでに　② たまたま　③ ひょっとすると

番号 ＿＿　手がかり ＿＿＿＿

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「古文単語プリント」のプリント一覧がひらきます

古文単語 本文で意味を決める ①【こたえ】

高校／意味が2つの語を、本文の手がかりで絞る

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿

日付 ＿＿＿＿＿＿＿＿

赤い字がこたえです。手がかりは例で、同じ理由を示す別の語句でも正解にします。
「→」のあとは、その意味に決まる理由です。番号だけ合って手がかりが言えないときは、理由を確かめましょう。

1 いかで （副詞） 意味の一覧 ① どうして ② なんとかして

ア 世界の男、貴なるも賤しきも、「いかでこのかぐや姫を得てしがな、見てしがな。」と、音に聞きめでて惑ふ。（竹取物語）
→ 願望の終助詞（てしがな・ばや）と呼応＝実現を願う「なんとかして」

番号 ②　手がかり **てしがな**

イ 石作皇子は心のしたくみある人にて、「天竺に二つとなき鉢を、百千万里の程行きたりともいかでか取るべき。」と思ひて、……（竹取物語）
→ 「いかでか＋推量・可能のべき」＝反語の「どうして～か」

番号 ①　手がかり **取るべき**

2 にほひ （名詞） 意味の一覧 ① 美しい色つや ② 香り

ア 申の時にて源氏参りたまふ。角髪結ひたまへるつらつき、顔のにほひ、さま変へたまはむこと惜しげなり。（源氏物語・桐壺）
→ 顔の血色・つやを言う（視覚）

番号 ①　手がかり **顔の**

イ 御堂の方に法師ども参りたり。夜寒の風にさそはれくる空薫物のにほひも、身にしむ心地す。（徒然草・第四十四段）
→ 薫物の「にほひ」＝かおり（嗅覚）

番号 ②　手がかり **空薫物**

3 あさまし （形容詞シク活用） 意味の一覧 ① 意外なことに驚く ② 情けない・見苦しい

ア ……うち伏せてしばりけり。馬は血つきて宇治大路の家に走り入りたり。あさましくて、男どもあまた走らかしたれば、……（徒然草・第八十七段）
→ 血のついた馬が戻るという予想外の出来事への、驚きあきれる気持ち

番号 ①　手がかり **馬は血つきて**

イ 三昧僧何某の律師とかやいふ者、ある時鏡を取りて顔をつくづくと見て、我が貌の醜くあさましき事を、余りに心憂く覚えて、鏡さへうとましき心地しければ、……（徒然草・第百三十四段）
→ 「醜く」と並び、自分の容貌を嘆く＝見苦しい・情けない

番号 ②　手がかり **醜く**

4 おほす （動詞・サ行下二段活用） 意味の一覧 ① おっしゃる ② お命じになる

ア 亀山殿の御池に、大井川の水をまかせられむとて、大井の土民におほせて、水車を作らせられけり。（徒然草・第五十一段）
→ 「～におほせて～作らせ」＝人に命じて何かをさせる

番号 ②　手がかり **水車を作らせ**

イ 「内侍所の御鈴の音は、めでたく優なるものなり。」とぞ、徳大寺の太政大臣はおほせられける。（徒然草・第二十三段）
→ 「」の中の言葉を「と」で受けて引く＝言う意の尊敬「おっしゃる」

番号 ①　手がかり **」とぞ**

古文単語 本文で意味を決める ②【こたえ】

高校／同じ単語でも本文によって意味が変わる

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿

日付 ＿＿＿＿＿＿＿＿

赤い字がこたえです。手がかりは例で、同じ理由を示す別の語句でも正解にします。
「→」のあとは、その意味に決まる理由です。番号だけ合って手がかりが言えないときは、理由を確かめましょう。

1 あやし （形容詞シク活用） 意味の一覧 ① 不思議だ ② 身分が低い ③ みすぼらしい

ア 心にうつりゆくよしなしごとを、そこはかとなく書きつくれば、あやしうこそものぐるほしけれ。（徒然草・序段）

→ 書き手自身の心のようすを言う。身分や見た目の話ではない

番号 ① 手がかり **ものぐるほしけれ**

イ あやしの竹の編戸のうちより、いと若き男の、月影に色あひさだかならねど、つややかなる狩衣に濃き指貫、……（徒然草・第四十四段）

→ 修飾先が人ではなく戸（物）なので身分は言えない。粗末な戸

番号 ③ 手がかり **竹の編戸**

2 わたる （動詞ラ行四段活用） 意味の一覧 ① 移動する ② 一面に～する ③ ～し続ける

ア 東西は海ちかくていとおもしろし。夕霧たちわたりて、いみじうをかしければ（更級日記）

→ 霧が立つ動作に付き、霧が広がりわたる

番号 ② 手がかり **夕霧たち**

イ 因幡の国に、何の入道とかやいふものの女、かたちよしと聞きて、人あまたいひわたりけれども（徒然草・第四十段）

→ 動詞「いふ（言い寄る）」の連用形に付き、動作が続く。あまたの人が求婚し続ける

番号 ③ 手がかり **いひ**

ウ 舟にてわたりぬれば、相模国になりぬ。（更級日記）

→ 舟で川を越え、次に国の名が変わる＝場所の移動

番号 ① 手がかり **舟にて**

3 おこたる （動詞ラ行四段活用） 意味の一覧 ① 病気がよくなる ② 怠ける・油断する

ア 念仏の時、睡りにをかされて行をおこたり侍ること、いかがしてこの障りをやめ侍らむ。（徒然草・第三十九段）

→ 眠気に負けて念仏の行を続けられない

番号 ② 手がかり **睡りにをかされて**

イ いみじく苦しければ、天竜といふ川のつらに、仮屋つくり設けたりければ、そこにて日ごろすぐるほどにぞ、やうやうおこたる。（更級日記）

→ 苦しんで仮屋で日を過ごしたあとの変化

番号 ① 手がかり **いみじく苦しければ**

4 おどろく （動詞・カ行四段活用） 意味の一覧 ① 目を覚ます ② はっと気がつく ③ 驚く

ア わづらふ姉おどろきて、……など問へば、夢にこの猫のかたはらに来て（更級日記）

→ 夢の話をしている＝それまで眠っていた

番号 ① 手がかり **夢に**

イ 暁になりやしぬらむと思ふほどに、山の方より人あまた来るおとす。おどろきて見やりたれば、鹿の縁のもとまで来てうち鳴いたる（更級日記）

→ 起きて考えごとをしていた。眠っていないので「目を覚ます」は合わない（③も正解）

番号 ②③ 手がかり **思ふほどに**

古文単語 本文で意味を決める ③【こたえ】

高校／意味が3つの語。同じ番号が重なることも

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿

日付 ＿＿＿＿＿＿＿＿

赤い字がこたえです。手がかりは例で、同じ理由を示す別の語句でも正解にします。
「→」のあとは、その意味に決まる理由です。番号だけ合って手がかりが言えないときは、理由を確かめましょう。

1 かしこし （形容詞ク活用） 意味の一覧 ① 恐れ多い ② 優れている ③ 非常に

ア ……世を貪らざらむぞいみじかるべき。昔よりかしこき人の富めるは稀なり。（徒然草・第十八段）

→「かしこき」が「人」を修飾し、人の資質を言う＝賢い・優れている

番号 ② 手がかり **人の富める**

イ いでや、この世に生れては、願はしかるべきことこそ多かめれ。帝の御位はいともかしこし。（徒然草・第一段）

→ 帝の御位への敬意＝恐れ多い

番号 ① 手がかり **帝の御位**

ウ 男女きらはず呼び集へて、いとかしこくあそぶ。（竹取物語）

→ 連用形で動詞を修飾する副詞用法＝程度が非常に

番号 ③ 手がかり **あそぶ**

2 しのぶ （動詞） 意味の一覧 ① 我慢する ② 人目を避ける ③ 思い慕う

ア ……夕の嵐、夜の月のみぞ、言問ふよすがなりける。思ひ出でてしのぶ人あらむほどこそあらめ。（徒然草・第三十段）

→「思ひ出でて」と続く＝思い出してなつかしむ＝思い慕う

番号 ③ 手がかり **思ひ出でて**

イ ある人とぶらひたまはむとて、夕月夜のおぼつかなき程に、しのびて尋ねおはしたるに、……（徒然草・第百四段）

→ 暗い夕月夜に人を訪ねる＝「しのびて」は人目を避けてこっそり

番号 ② 手がかり **夕月夜**

ウ 下りて拝したてまつりたまふさまに、皆人涙落としたまふ。帝はた、ましてえしのびあへたまはず、思し紛るる折もありつる昔のこと、とりかへし悲しく思さる。（源氏物語・桐壺）

→「え～ず」と打消を伴う＝こらえきれない

番号 ① 手がかり **涙落としたまふ**

エ 皇子「いとしのびて。」とのたまはせて、人もあまた率ておはしまさず、近う仕うまつる限して出でたまひぬ。（竹取物語）

→ 供の人を多く連れず出かける＝人目を避けてこっそり

番号 ② 手がかり **人もあまた率て**

3 まどふ （動詞ハ行四段活用） 意味の一覧 ① あわてる ② 迷う ③ ひどく（～する）

ア 晦日の夜いたう暗きに、松どもともして、夜半すぐるまで、人の門叩き走りありきて、何事にかあらむ、ことごとしくののしりて、足を空にまどふが、……（徒然草・第十九段）

→「足を空に」＝落ち着きなく、あわてふためく

番号 ① 手がかり **足を空に**

イ 鼻の中ふたがりて、息も出でがたかりければ、さまざまにつくろひけれど、煩はしくなりて、目眉額なども腫れまどひて、うち覆ひければ、……（徒然草・第四十二段）

→ 他の動詞の連用形に付き、程度のはなはだしさを添える補助的用法

番号 ③ 手がかり **腫れ**

ウ 露霜にしほたれて、所さだめずまどひ歩き、親のいさめ、世のそしりをつつむに、心のいとまなく、……（徒然草・第三段）

→「所さだめず～歩き」＝行き先も定まらずさまよう

番号 ② 手がかり **所さだめず**

古文単語 本文で意味を決める ④【こたえ】

高校／意味の一覧なしで、本文から意味を書く

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿

日付 ＿＿＿＿＿＿＿＿

赤い字がこたえです。意味は古文単語プリントの一覧表の語義で、同じ意味の別の言い方も、本文に合えば正解にします。
「任官・昇進」のように「・」でつないだ語義は、どちらか一方でも正解です。
手がかりは例で、同じ理由を示す別の語句でも正解です。「→」のあとは、その意味に決まる理由です。

1 かへる年、正月の司召に、親のよろこびすべき事ありしに、かひなき翌朝、……（更級日記）

→ 司召は官職を任命する儀式。その場の「よろこび」＝任官・昇進

意味：**任官・昇進**　手がかり：**司召**

2 公事どもしげく、春のいそぎにとり重ねて、催し行はるる様ぞいみじきや。（徒然草・第十九段）

→ 年末の公事に新春を迎える「いそぎ」が重なる＝用意・準備

意味：**用意・準備**　手がかり：**催し行はるる**

3 楫取答へてまをす、「ここら船に乗りてまかりありくに、まだかくわびしきめを見ず。御船海の底に入らずは神落ちかかりぬべし。……（竹取物語）

→ 嵐に遭う「わびしき目」＝つらい経験

意味：**つらい**　手がかり：**神落ちかかり**

4 ひとり灯火のもとに文をひろげて、見ぬ世の人を友とするこそ、こよなう慰むわざなれ。（徒然草・第十三段）

→ ひろげて読み、昔の人を友とする＝書物

意味：**書物**　手がかり：**見ぬ世の人を友**

5 さて仕うまつる百官の人々に、あるじいかめしう仕うまつる。（竹取物語）

→ 百官の人々に「あるじ」を盛大に＝饗応・ごちそう

意味：**ごちそう**　手がかり：**百官の人々に**

6 「実方は御手洗に影のうつりける所と侍れば、橋本やなほ水の近ければと覚えはべる。……（徒然草・第六十七段）

→ 御手洗の水に映る＝人の姿

意味：**姿**　手がかり：**御手洗**

7 よろづのとがは、馴れたるさまに上手めき、所得たるけしきして、人をないがしろにするにあり。（徒然草・第二百三十三段）

→ 人の「とが」は、なれなれしい態度にある＝欠点

意味：**欠点**　手がかり：**馴れたるさま**

8 ……月の興も覚えず屈じ臥しぬ。つとめて舟に車かき据ゑて渡して、あなたの岸に車ひき立てて、……（更級日記）

→ 前夜に臥した後の「つとめて」＝その翌朝

意味：**翌朝**　手がかり：**屈じ臥しぬ**

古文単語 本文で意味を決める ⑤【こたえ】

高校／1つの長い本文の中で、5つの語の意味を決める

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿

日付 ＿＿＿＿＿＿＿＿

赤い字がこたえです。手がかりは例で、同じ理由を示す別の語句でも正解にします。
「→」のあとは、その意味に決まる理由です。番号だけ合って手がかりが言えないときは、理由を確かめましょう。

初めよりおしなべての上宮仕へしたまふべき際にはあらざりき。おぼえいと（ア）やむごとなく、上衆めかしけれど、わりなくまつはさせたまふあまりに、（イ）さるべき御遊びの折々、何事にもゆゑある事のふしぶしには、まづ参う上らせたまふ。ある時には大殿籠もり過ぐして、（ウ）やがてさぶらはせたまひなど、あながちに御前去らず（エ）もてなさせたまひしほどに、（オ）おのづから軽き方にも見えしを、……（源氏物語・桐壺）

ア　やむごとなし（形容詞ク活用）

意味の一覧　① ほっておけない　② この上ない　③ 高貴だ

番号 ③　手がかり **上衆めかしけれど**

→「上衆めかし」（上流の女房らしい）と並び、評判も重々しい＝高貴だ（「この上ない」とする説もあるが、この並びから③）

イ　さるべき（連語）

意味の一覧　① そうなる運命の　② 適当な　③ 立派な

番号 ②　手がかり **御遊びの折々**

→「さるべき」が「御遊び（催し）」を修飾＝行事にふさわしい、適当な

ウ　やがて（副詞）

意味の一覧　① そのまま　② すぐに

番号 ①　手がかり **大殿籠もり過ぐして**

→ 夜を過ごしたあと、そのまま引き続きお仕えさせる

エ　もてなす（動詞サ行四段活用）

意味の一覧　① 振る舞う　② 取り扱う

番号 ②　手がかり **御前去らず**

→ そば近くから離さず、取り扱う

オ　おのづから（副詞）

意味の一覧　① ひとりでに　② たまたま　③ ひょっとすると

番号 ①　手がかり **軽き方にも見えし**

→ 意図せず自然と軽々しい身分にも見えた